



「三世代交流水田での米づくり」で住民交流

きたこまつ よっかいちし
緑ゆたかな北小松をまもる会（三重県四日市市）

- 三重県四日市市の北小松町では、地域住民の世代間の交流を深めたいとの思いから、平成17年より「三世代交流水田」での米づくりを実施。
- 平成19年に農地・水・環境保全向上対策に取り組むに当たっても、この三世代交流水田での米づくりを農村景観向上活動の「景観形成・生活環境保全」として位置付け、継続的な活動が展開されている。
- 三世代交流水田での米づくりは、地域の子供会（児童と父兄）と老人会が連携し、手植え、鎌による刈取り、足踏み式脱穀機による精米といった旧来の農法を用い実施している。
- この活動を通じて地域住民の世代間交流が深まるとともに、子供達を含む地域住民に農業や環境の大切さを伝えていきたいと考えている。

【地区概要】

- ・取組面積 17 ha（田17ha、畑0.3 ha）
- ・資源量
開水路2.8 km、パイプライン1.9 km、
農道11.5 km
- ・主な構成員
農業者、農事組合法人、自治会、
女性会、子供会、他6団体
- ・交付金 約1百万円（H29）
〔 農地維持支払
資源向上支払（共同） 〕

田 植 [5月]

子供会の児童と老人会が一緒になって、昔ながらの手植えにより田植え



稲刈り・脱穀 [9月]

子供会の児童らが老人会の指導のもと、鎌により手刈した稲を足踏み式脱穀機により精米



餅つき大会 [10月]

秋の大祭で、収穫した餅米を使い交流餅つき大会



世代間交流で、豊かな農村環境と文化を伝承